

まじは!!

「王国は主のものとなる」

「救われた者たちがシオンの山に上って、エサウの山を裁く。こうして王国は主のものとなる。」

(オバデヤ書 第1章21節・旧約聖書1424頁)

はじめに

オバデヤ書は旧約聖書の中で最も短い書物です。ユダの隣国エドムは、イサクの息子エサウから出た民族です。ヤコブの祖先がイスラエルですから、兄弟関係なのですが、両国の間には常にトラブルが発生し、険悪な関係にありました。10～14節にありますが、ユダが侵入してきた敵の攻撃を受けていた時に、助けることなく傍観していただけでなく、なんとそれに便乗して略奪行為に及び、逃げてきた人たちを敵国に引き渡し、奴隷にするようなことまでしていました。

逆境にあって、弱っている時、思うような助けを得られなかったり、傷に塩を塗られることがあったら、立ち直る気力さえ失います。そのような状況を神はどのように見ておられるのでしょうか。それがオバデヤ書のテーマです。

助けるどころか

このオバデヤ書の最大の問題は、敵国の攻撃以上に、兄弟民族であるエドムがその苦難につけ込んで悪さをしたことです。

誰にも苦しみ、悩み、追い詰められることがあります。その時、支えてくれる人たちがいて、どれだけ助けられ、励まされたかわかりません。ところが、今回も、という時、いつもなら助けてくれる人が、その時思うように動いてくれなかったり、冷たくされる、それだけでなく、逆に敵である相手と同じ立場になって、自分を責め始めた時、これほどのショックはありません。イザヤ書では「人間にたよることはや

めよ 鼻で息をするだけの者に。」(2:22)とありますが、コミュニケーションを否定しているではありません。信頼しすぎてはならないのだとの警告です。

エドムは引きずり降ろされる

では、私たちがそのような目に遭っている時、神は何をなさっているのでしょうか。

当然、神はすべてを見ておられます。そして、敵よりも、私たちを助けなかったエドムに対し、厳しい裁きを与えるのです。彼らがいかに傲慢であるか、自分には害が及ばないと思って平然と構えている高ぶった姿、人を利用し略奪するあさましさ、人を傷つけてもうすら笑いをしているような態度、すべてを見ておられ、「引きずり降ろ」(4)され、エドムは「自分の報いが自分の頭上に返る」(15)ことを知るでしょう。

シオンの山に

私たちが、このつらい試練を経験し、信頼すべきは神なののだとの思いに返った時、つまり、ここでいう「シオンの山に逃れた」時、「そこは聖なる所となる」(17)のです。「救う者たちがシオンの山に上り、エサウの山を治める。そして王権は主のものとなる。」ことが実現するのです。これは、自分を害した高ぶるエドムが裁かれることよりも、主が王であり、すべてはこの王の御手の中で事が進められていくのだとの信仰に立つことが、この書が著された目的なのです。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



今週の祈り

「しかし、そのことを心に
思い返そう。それゆえ、私
は待ち望む。主の慈しみは絶えることがない。
その憐れみは尽きることがない。そ
れは朝ごとに新しい。あなたの真実
は尽きることがない。『主こそ私の
受ける分』と私の魂は言い それ
ゆえ、私は主を待ち望む。主は、ご
自分に希望を置く者に ご自分を
探し求める魂に恵み深い。主の救い
を黙して待ち望む者に恵み深く
若い時に軛を負う者に恵み深い。」(哀歌 3:21 ~
27)
「すべて重荷を負って苦勞している者は、私の



もとに来なさい。あなたがたを休ませてあげよ
う。私は柔和で心のへりくだった者だから、私
の軛を負い、私に学びなさい。そうすれば、あ
なたがたの魂に安らぎが得られる。
私の軛は負いやすく、私の荷は軽い
からである。」(マタイによる福音
書 11:28 ~ 30)
神さま、私は苦しみの中にあっ
て、自分の思いでそれを見つめてい
て、悲しみを深くし、あなたが私を
どのようによくしてくださってい
るのか、考えることがありませんでした。あな
たは私に真実を尽くしてくださったのです
ね。感謝です。御名によって祈ります。アーメン。

深読みにチャレンジ！

箴言 (125) 第6章16節

＊三つの違う訳を読み比べてみましょう。

- ◎協会共同訳 「主の憎むものが六つ 心からい
うものが七つある。」
◎口語訳 「主の憎まれるものが六つある、否、そ
の心に、忌みきらわれるものが七つある。」
◎新改訳 「主の憎むべきものが六つある。いや、
主ご自身の忌みきらうものが七つある。」

「六つ 七つ」

分かるようでわからない、非常にややこしい
言い回しです。「憎む」と「いとう」は違う語で、
直訳すると、「六 主が憎むもの そして 七
主の忌み嫌うもの」となります。「いとう」のほ
うが「憎む」よりも嫌悪感が強い表現となりま
す。神にとって受け入れがたい存在、それが「い
とうもの」です。

なぜ最初から「七つある」と言わないのでしょ
うか。実は第30章に同じような表現方法が用
いられています。「三つ いや四つあって」です。
このように一つ増えることによって、検索をか
けていく中で一つ、また一つと顕わにされてい
く、また明らかにされていく様子を強調してい
ると考えられます。ですから、数の訂正ではな
いということです。

次回より順を追って解説しようと思いますが、
その7つの項目を挙げておくと、「高ぶる目」、「偽

【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成され
ています。31章から構成されていますが、あたかも短編
を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連
なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、
そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難し
いため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいた
いと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある
生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただき
たいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1 ~ 9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1 ~ 22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17 ~ 31:31)
 - a 知恵ある人の言葉 (22:17 ~ 24:34)
 - b ソロモンの言葉 (25:1 ~ 29:27)
 - c アグルの言葉 (30:1 ~ 33)
 - d レムエルの言葉 (31:1 ~ 31)

りを語る舌」、「無実の人の血を流す手」、「悪巧
みを耕す心」、「急いで悪に走る足」、「虚偽を語
る偽りの証人」、「兄弟の間に争いを引き起こす
者」となります。

口語訳に「否」とあります。原文であてはま
るのは「そして」なのですが、口語訳では後半
を強調している本意を受けて、「そして」ではな
く「否」を採用したのでしょうか。確かに効果が
あります。教会共同訳では「心」とせずに「心
から」として、原文の「そして」の意図を拾い
上げたのだと思います。

聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをすることはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈祷課題」も祈る。

【月曜日】◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

箴言第2章6節「まさしく、主が知恵を授け 主の口から知識と英知が出る。」◆最も大切な知恵は「主を畏れる」ことである。それでは、どうすれば主を畏れることを悟り、神を知ることができるようになるか。まず、自らを低くして、心に向けることである。次に、隠された宝を求めるように探すことだと書かれてある。その姿勢ができた時、「主の口」つまり「聖書の言葉」を通して知恵が増し加わっていく。こうしたプロセスによって、私たちの生活が改善され、人間関係が見違えるように修復されていく。聖書が私たちを造り変えてくださる。

●賛美／313 ●祈祷課題

◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。
◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

【火曜日】◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

箴言第3章6節「どのような道を歩むときにも主を知れ。主はあなたの道筋をまっすぐにしてくださる。」◆高校生の時、教会員の婦人を自宅に訪ねた。突然の訪問にもかかわらず、迎え入れてくださった。その方は京都のクリスチャン医師の娘で、学業優秀、教会でもオルガニストも務めていた。世の中で言ったら、何不自由なく育ったわけで、その方に、「うらやましい」と申し上げたら、この言葉を聞かれて、自分の証しと共に語ってくださった。人生、紆余曲折あるように思うが、振り返った時「まっすぐな道」だったと言える者でありたい。

●賛美／314 ●祈祷課題

◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a.、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

【水曜日】◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

箴言第4章18節「正しき者の行く末は輝き出る光のようだ。進むほどに光を増し、真昼の輝きとなる。」◆「正しき者」とは、常に神を向いている者のことである。あなたはどちらを向いて歩いているだろうか。暗い中を歩いていても、光である神に向かって行ってほしい。必ず目の前から光が差し、そして時々刻々と輝きが増されていくはずだ。光と暗闇の対比はわかりやすい。もし神に背を向けて暗い道を行くならば、何があってもちよつとしたことでもつまずくだろう。だが、神の光を求めていく生涯は、輝きの中を歩き、命と喜びに満ちる。

●賛美／315 ●祈祷課題

◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように
◆宗教法人を取得できるように
◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

箴言第5章3節「よその女の唇は蜜を滴らせ その口は油よりも滑らか。」◆箴言にはよく「よその女」つまり、外国の偶像とつながりを示す「遊女」が登場する。まっすぐな道を歩もうとする信仰者を誘惑する、やっかいな存在だ。「わが子よ」と呼びかけ、「私の教えを忘れるなよ」と念をおしているにもかかわらず、いつの間にか滑らかな口によって足を踏み外してしまう。私たちは何を見ているだろうか。また、何を望んでいるだろうか。そして何を慕い求めているだろうか。甘い言葉で誘惑されたとしても、決して自分を見失ってはならない。

●賛美／316 ●祈禱課題

◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。

◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

箴言第6章21節「それを常に心に結び付け 首に巻きつけておけ。」◆モーセを通して神の民たちにも伝えられたが、自分の心の柱に刻みつけるようにして、自分の家の柱に記し、また額に装着するようにとされた神の言葉は、私たちも同様な位置におくべきことを教えている。心に結び付け、首に巻きつけておくようにとあるから、飾りのようにつけておけば良いのか、というのではなく、「何があっても決してそれを自分の身から離してはならない」との信仰姿勢を保つことを教えている。神の教えを心に結びつけよう。

●賛美／317 ●祈禱課題

◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。

◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。

◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

箴言第7章2節「私の戒めを守って生きよ。私の教えを目の瞳のように守れ。」◆父から「知恵」を授けられているが、その「知恵」の中で「よその女」を登場させて、神の言葉に従うか、また自分の心の楽しみを優先するかを迫り、また戒める内容が続く。ここでは、「生」か「死」かの究極の選択でもあるのだと諭されている。初めはほんの一言に過ぎない誘惑も、度重なるうちに心が穏やかではなくなる。だが、その誘惑は、自分の魂の生死、そしてこれからの生涯が祝福されるか失敗するか分岐点であることを自覚すべきである。

●賛美／318 ●祈禱課題

◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。

◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

箴言第8章22節「主はその道の初めに私を造った いにしへの御業の始まりとして。」◆知恵を擬人化して語っている部分が多い。この22節からもその一部で、天地創造のわざが「知恵」を基礎にして造られていったと記されている。御言葉が発せられて造られていった世界は、知恵、つまり神を畏れ、敬うことが土台となっているということだ。神の創造物は、神と直結しているがゆえに、神の存在を感じつつ、生活すべきである。神でしかなしえなかった天地創造のわざを思い起こし、神をたたえるべきである。

●賛美／319 ●祈禱課題

◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。

◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



おやこでせいしょ

●きょうのせいしょ

【れつおうきげ 2:1～18】

「エリヤと エリシャ」

(れつおうきげ 2:15)

アハブおうと そのおくさんの イゼベルは かみさまを しんじようとせず、ぎゃくに、たみたちに パアル のとうにせものの かみさまをおがませ、またかみさまにつかえる よげんしゃたちを ころしつづけました。そのようななかで かみさまに たてられて しんこうを たたかいをつづけていたのが エリヤです。

エリヤのまわりには よげんしゃの なかまがいたのですが、そのなかの エリシャは エリヤのことを そんけいし、エリヤのように かみさまの ことばを ちからづよく つたえる ようになりたいと おもっていました。

あるとき、エリヤは じぶんが イスラエルで かみさまの ことばを かたる ときが すくないのをしります。そのことは エリシャにも わかりました。エリシャは エリヤがもっている ちからを さずけてもらいたいとねがっていました。

たので、「あなたは じぶんの ところに かえりなさい」と エリヤにいわれても「いえ。わたしは あなたについていきます」と、さいごまで はなれることはありませんでした。

そのときが きました。かみさまが エリヤを てんに あげられる ときがきたのです。そのとき、エリシャはいいました。「あなたの れいの にばいの わけまえをください」。これは、かみさまからの れいが あたえられることで、エリヤのように かみさまの ちからによって、かつ やくすることができる ちからを あたえてください という ねがいの ことばでした。

ふたりの もとに ひのせんしゃと ひのうまが あらわれ、エリヤは あっというまに てんに のぼっていきました。

「あなたの もとから わたしが とりさられるのを みたら、あなたのねがいどおりになるだろう」。そうエリヤがいていた ことが じつげんしました。エリシャは かみさまにめされ、かみさまの ちからを エリシャに そそいでくださったのです。

●かんがえてみよう

☆エリシャは エリヤに どのようなことを おねがっていましたか。(2:9)

☆そのねがいをきき、エリヤは エリシャに なんといいましたか。(2:10)

☆エリコの よげんしゃなかまは エリシャをみて なんといいましたか。(2:15)



なみむ聖書

もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりますが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

が
い
とう
を
こ
に
あ
る

	に				を			
が				と	を			す
			い		る		て	
る	が		を			う	い	
て	す		と				が	
い	を	う		る				と
に	い	て	す		が		う	
とう	を				て		に	が
		が		に		い		て

こ
と
ば
あ
そ
び

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。答えてください。

- ① よがるだんわ
- ② ひゃせんのにし
- ③ いればのにい
- ④ じむかつぜ

まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





牧師の 聖書 ななめ読み

「骨密度」

腰椎の手術をして半年。手術前に骨密度が低いと言われ、がく然とした私は、食生活にもカルシウム、ビタミンD、ビタミンKの摂取に心がけ（熱心ではありませんでしたが）、推奨されている「運動」「日光浴」も努力し、MBPというサプリメントも摂り始めました。今回、半年経ったということで、改善しているであろう数値を測ったところ、なんと、腰の骨は90%台に上がっていたのですが、足の骨の方が70%を切っていた、つまり下がっていたこと

が判明しました。

「どうしてですか？」と医師に聞いた所、高齢者になると「骨を作る力」が大幅に低下するからだと思うとのこと。もう一つ言われたのは、運動量が落ちたからではないかとの指摘です。「だって、あまり運動するなと言ったのは先生でしょ」と言いたかったのですが、そこはこらえて、「少し激しめにやっていいんですね」と聞くと、「まだあまり激しくするとよくないのほどほどに」というあいまいな答え。難しいですね。どのくらいやればいいのか。

脊椎に埋め込んだインプラントはしっかりしているそうなので安心しましたが、これからは、骨の強度を増すために有効なものを探り、取り入れていくつもりです。

聖書ふれあい街歩き

●シュネム

エリシャの記事で「シュネムの女」が登場しますので、シュネムを取り上げます。

シュネムは、イスラエル北部イツサカル族の相続地で、分裂後は北イスラエル王国に属していました。ギルボア山とはイスラエル平原を挟んで向かい合った位置にあります。シュネムに脚光が当たるのは、サウル王最後の戦いの場面（サムエル記上 28 章）になります。ペリシテ軍はイスラエルとの戦いのためにシュネムに集結し、陣を敷きました。サウルはそれを聞いて全イスラエル軍をその対面となるギルボア山に配置します。イスラエル平原を挟んで両軍が対峙、結局、サウルはヨナタンと共に戦死してしまいました。

次に登場するのが、ダビデの晩年の世話をした「シュネム人アビシャグ」です（列王記上 1:3）。後にダビデの息子でソロモンとの後継争いに敗れたアドニヤがアビシャグを妻にしたいと求めますが、そこに潜む政略的な意図を感じたソロモンは反逆行為とみなし、断罪します（王上 2 章）。

その出来事があって、エリシャに関係する「シュネムの女性」が出てくるのですが、今回はここまで。次回、取り上げます。

ななめ聖書 先週のこたえ

の	す	に	そ	み	な	え	ふ	ま
み	な	え	す	ま	ふ	に	そ	の
ま	ふ	そ	え	に	の	な	み	す
に	え	な	の	そ	す	ふ	ま	み
そ	ま	の	に	ふ	み	す	な	え
ふ	み	す	ま	な	え	の	に	そ
す	そ	み	な	の	に	ま	え	ふ
え	に	ふ	み	す	ま	そ	の	な
な	の	ま	ふ	え	そ	み	す	に

- ①おうしにとう
- ②かるめるさん
- ③たきぎのうえ
- ④さんどめ



ローマに向かうパウロ

ところがフェストゥスは、パウロはカイサリアで監禁されており、自分も間もなくそこへ帰ることになっていると答え、「だから、その男に何か問題があるというなら、あなたがたのうちの有力者が、私と一緒に下って行って、告発すればよいではないか」と言った。

フェストゥスは、八日か十日ほど彼らのところに滞在してから、カイサリアへ下り、翌日、裁判の席に着いて、パウロを引き出すように命じた。

パウロが出廷すると、エルサレムから下って来たユダヤ人たちが彼を取り囲んで、重い罪状をあれこれ言い立てたが、それを立証することはできなかった。

(使徒言行録25:4~7)



フェストゥスとアグリッパの前で

【三日後】

フェストゥスは、祭司長と最高法院のおもだった長老たちに会うため、赴任して3日目にエルサレムを訪問しています。着任後は事務的な引き継ぎも含めていろいろやることがあったと思うのですが、「着任して三日後」は、フェストゥスが最優先と位置づけていたからにはかなりません。

ユダヤ人たちに気に入られようとしての行動だったとも受け取れますが、あくまでもローマは支配者側です。ただ単なる挨拶ではなく、ユダヤ人指導者たちとの関係を良好なものにし、自分が任された属州の統治に関する重要事項を把握するためだったはずです。

現在、イスラエルは首都を「エルサレム」としていますが、実は「日本を含め国際的には認められていない」との位置づけにあります。日本の外務省では、エルサレムとは言っていますが、先ほどの注釈つきで、紹介されています。正式にはテルアビブなんです。もちろん、さまざま複雑な問題があるからです。事情は少し異なりますが、この時も、総督の公邸や行政の中心は港のあるカイサリアなのですが、エルサレムはユダヤ人社会の宗教、政治の中心地となっており、無視することができない位置にありました。

すると、待ってましたとばかり彼らが訴えたのが、パウロ問題だったのです。

ユダヤ人指導者たちは、パウロを途中で暗殺しようとしていたため、エルサレムに移送した上で、裁判にかけてほしいと求めます(25:3)。

フェストゥスは、俺はそんなことを聞きにここまで来たわけじゃないという態度だったと思いますが、「パウロはカイサリアで監禁、留置されて

いるのだから、代表者がカイサリアに来て訴えたらいいじゃないか」と答えるわけです。

おそらくは秘書などからこれまでの経緯について説明がなされており、フェリクス同様、宗教問題であって、ローマは関与しないと決めていたのでしょう。首を突っ込んで、下手を打ちたくありません。それがピラトを含め、ローマ総督の態度に表れているのです。

【八日か十日】

この「八日と十日」。非常に気になる言い方です。「八日」でも、「十日」でもなく、「八日か十日」です。ギリシア語を調べてみると「八日あるいは十日を超えない程度」という意味であることがわかりました。「どのくらい行ってくるの?」「一週間、長くて十日くらいかな」というような言い方だと思います。

著者であるルカは「着任して三日後」と、エルサレムに向かった時間を正確に記述しているのに、ここでは「八日か十日ほど」です。これは、フェストゥスがエルサレムに行き、直接指導者たちからパウロの一件について訴えを聞いたということが重要であり、あとの滞在時間は関心がなかったからではないかと想像します。フェストゥスはそのあと、何日くらいエルサレムにいてどんな行動をしたのかなど、使徒言行録には必要がないとの判断で、「このくらい」という曖昧な表現である「八日か十日」を使ったのでしょう。

「その間(八日か十日)」にユダヤ人たちがカイサリアに向かっていて先に着いていた。自分が言い出したわけですから、受けなければなりません。だから、帰った「翌日」裁判になったわけです。このことをルカは記したかったのでしょう。

キリスト教まるわかり Q&A

◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えます。また信仰の強要はいたしません。

◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任せており、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が異なるため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

2026年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過すために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日を加え、守っています。

顕現節(1/6～#2/17)

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#2/15)として守ります。

四旬節(#2/18～#3/28)

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#2/18)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#3/29～4/4)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#3/29)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/2)、十字架にかかれた受難日(#4/3)と過ごしていきます。

復活節(#4/5～#5/23)

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/5)から始まります。春分の日からの最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/14)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日 #5/17)となります。

聖霊降臨節(#5/24～#11/28)

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#5/24)から

始まり、三位一体主日(#5/31)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

待降節(#11/29～12/24)

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/20)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

降誕節(12/25～1/5)

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

【記念日】

母の日(5/10・5月第二)
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)
花の日(子どもの日・6/14・6月第二)
父の日(6/21・6月第三)
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)
宗教改革記念日(10/31・1517年)
収穫感謝日(11/22・11月第四)

【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・木)
成人祝福礼拝(#1/11・1月第二)
聖書愛読週間(#3/22～28)
みふみの日(3月23日)
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/29)
最後の晩餐集会(#4月2日夕)
召天者記念合同礼拝(#6/14・6月第二)
弾圧記念礼拝(#6月28日・26日前後の主日)
石出忠師記念礼拝(#7月5日・7月第一)
敬老祝福礼拝(#9/13・9月第三)
子ども祝福礼拝(#11/1・11月第一)
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・木)

教会紹介

●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙 2:5:17 など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙 2:19 ~ 20 など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記 15:26 など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙 1:5:51 など)

教会の信条

さがみはら 相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

わたし 私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が終末と示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

MEMO

単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦

牧師 石出 佳代子

牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

